

滋賀県 追補

著者	村瀬 忠義
雑誌名	植物地理・分類研究
巻	60
号	2
ページ	26
発行年	2013-03-01
URL	http://doi.org/10.24517/00053514



25. 滋賀県 追補

村瀬忠義 (〒526-0065 滋賀県長浜市公園町 8-74 murasetadayoshi@triton.ocn.ne.jp)

(A) 植物誌

『滋賀県植物誌』(保育社 1968)の改定を目標とした調査活動が滋賀県植物研究会によって行われているが、具体的な刊行計画は立っていない。植物証拠標本は滋賀県立琵琶湖博物館収蔵庫に収められ、過去に整理収蔵された寄贈標本に追加が徐々に増えている。

滋賀県植物誌の基礎資料となった橋本忠太郎氏の植物標本(約21,000点)その他の資料の大半を滋賀県立琵琶湖博物館が長く保管していたが、整理が行われ、2013年4~6月のギャラリー展で、植物標本、写真、業績などが一般公開されることになった。

(B) 研究機関

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、滋賀県立琵琶湖博物館、滋賀県立大学の環境科学部・環境生態学科などに植物分布や生態を研究している研究者がいる。

(C) 標本庫

その後、滋賀県立琵琶湖博物館では植物標本目録1, 2につづいて滋賀県産、植物標本目録3『村瀬忠義植物標本目録』(単子葉・裸子・シダ植物)、植物標本目録4『村瀬忠義植物標本目録』(合弁花類)、植物標本目録5『村瀬忠義植物標本目録』(離弁花類)が刊行された。まだ、村瀬の滋賀県産標本約20,000点、県外産標本約27,000点が残っていて、整理、目録の追加・刊行を要する。博物館の標本庫へは主に滋賀県植物研究会員が県内全域を歩いて標本を少しずつ入れている。琵琶湖博物館には未整理であるが、渡辺定路氏採集の福井県産の余剰標本(約5,000点)の寄贈を受けている。

(D) レッドデータブック

環境省の第3次レッドリスト見直し調査が2010~2011年に行なわれ、日本植物分類学会からの要請で、滋賀県植物研究会が滋賀県内の調査を担当し、報告を終えた。

滋賀県自然環境保全課から2005年に『滋賀県で大切にすべき野生生物』-滋賀県レッドデータブック2005年版-刊行、2011年に『滋賀県で大切にすべき野生生物』-滋賀県レッドデータブック2010年版-刊行された。

(E) 植物群落

伊吹山を守る会の顧問として長年学術調査を担当した村瀬が執筆した『伊吹山のお花畑保全事業の歩み』2006年 伊吹山を守る会事務局 米原市経済環境部環境保全課 (TEL0749-58-2230) から平成

19年3月に刊行した。内容は伊吹山の植物地理、植物研究史、植生、お花畑の保全事業などをまとめたものである。事務局に残部あり、購入可。また、伊吹山自然再生協議会の植物調査では全山の植物分布調査および植物社会学的に伊吹山全山の植物群落・特にお花畑の区分を試みた報告書(滋賀県-2010年)が出来ている。



図1. 『滋賀県で大切にすべき野生生物』-滋賀県レッドデータブック2010年版-